



# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	部分的に暫定整備を行った箇所についてのみ、歩行者等の安全を確保できた。				
II 定量的指標の達成状況	評価する指標		当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-2	周辺住民や利用者の道路整備に関する満足状況をアンケートにより聴取。うち、高評価を得られた回答の割合を算出。 (住民の安全・快適実感率) = [Σ(単路線の安全・快適実感回答数/単路線の有効回答数)] / 測定路線数 × 100	0.0%	80.0%	-
	目標値と実績値 に差が出た要因	対象路線の整備が完了しておらず、事業効果を適切に説明できる指標ではないため、計測不能とする。			
III 特記事項（今後の方針）					
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。					

上記指標に関連する事業

事業名	A-1-1-2 市道幹線第40号線		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：歩道整備 0.24km	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：263百万円
事業名	A-1-1-17 市道戸塚第165号線		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：歩道整備 0.05km	事業実施期間：平成27年～平成28年	事業費：34百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業完了エリアにおいて、年間交通事故の発生数が削減された。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-3	事業エリア、区間内における年間交通事故発生件数を調査する。 (交通事故発生件数(年間)の削減率) = (当初の事故発生件数 - 評価時点の事故発生件数) / (当初の事故発生件数) (%)		0.0% (299件)	20.0% (239件)	26.3%
	目標値と実績値 に差が出た要因		評価時点の事故発生件数は県警発表値であり、平成26年度末までのゾーン30実施エリアの数値となっているが、交通事故の削減については、期待以上の整備効果が得られている。			
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-1-1-5 道路速度規制安全対策事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：区画線設置 L=91.9km	事業実施期間：平成25年～平成28年	事業費：35百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	芝川の護岸を施工したことで豊かな水と緑に親しめる都市の創出に貢献した。					
	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
II 定量的指標の達成状況	3-7 芝川改修事業による護岸施工進捗率			51.2%	60.8%	62.7%
	目標値と実績値 に差が出た要因		当初想定していた予定より工事が進んだため目標値に達した。			
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-2-1-1 芝川都市基盤河川改修事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：掘削、護岸、用地買収	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：774百万円
事業名	C-2-1-1-1 水害対策マップ作成事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：浸水想定区域等表示したマップ作成	事業実施期間：平成24年	事業費：10百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	芝川改修事業用地を取得することで、護岸を施工する範囲を確保した。					
	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
II 定量的指標の達成状況	3-8 芝川改修事業用地取得面積			67.1%	73.5%	73.5%
	目標値と実績値 に差が出た要因					
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-2-1-1 芝川都市基盤河川改修事業
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：掘削、護岸、用地買収 事業実施期間：平成24年～平成28年 事業費：774百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	前野宿川調節池が完成したことで、浸水想定区域7.6haの被害が軽減した。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-9 前野宿川調整池の雨水貯留量 (%)			67.2%	100.0%	100.0%
	目標値と実績値 に差が出た要因					
III 特記事項（今後の方針）						

上記指標に関連する事業

事業名	A-2-1-2 中川圏域総合流域防災事業（前野宿川）
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：掘削工 護岸工 地盤改良工 事業実施期間：平成24年～平成28年 事業費：483百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	公共施設管理者負担金により、辰井川改修事業用地を取得することで整備可能箇所を確保した。				
	II 定量的指標の達成状況			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)
評価する指標					
3-10 公共施設管理者負担金による辰井川河川事業用地の取得面積 (㎡) (予定取得面積 6,451.94㎡)			17.7%	25.2%	24.7%
目標値と実績値 に差が出た要因		区画整理事業による用地取得時において、計画面積と実施面積に差異が生じたため。			
III 特記事項 (今後の方針)					
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。					

上記指標に関連する事業

事業名	A-2-1-3 辰井川都市基盤河川改修事業
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 公管金（用地）、掘削、護岸 事業実施期間： 平成24年～平成28年 事業費： 458 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	雨水対策施設の建設により、浸水被害の軽減が図られた。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-11 下水道による雨水対策施設の整備率（横曽根第六排水区） 浸水対策完了済み整備延長（m）／浸水対策を実施すべき整備延長（m）	26.1%	39.1%	32.4%
	目標値と実績値 に差が出た要因	施工予定区間に埋設物等の支障物が多く、切り回し等の対応が必要であったため予定通りの工事の進捗が図れなかったため、目標を達成出来なかった。		
III 特記事項（今後の方針）				
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-2-5-1 横曽根第六排水区雨水幹線整備（浸水対策）
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： L=0.7km      事業実施期間：平成24年～平成28年      事業費： 589百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	雨水ポンプ場及び雨水調整池の建設により、浸水被害の軽減が図られた。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-12 下水道による雨水対策施設の整備率（荒川左岸南部雨水） 雨水ポンプ場建設 1箇所、雨水調整池建設 1箇所	0箇所	2箇所	2箇所
	目標値と実績値 に差が出た要因			
III 特記事項（今後の方針）				
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-2-5-2 荒川左岸南部流域雨水管渠整備（浸水対策）		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：雨水ポンプ場建設 1箇所、雨水調整池建設 1箇所	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 3,166 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	河川や海域の水質保全の一助に繋がった。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	目標値 (H25年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-13 合流式下水道改善率 合流式下水道改善面積 (ha) / 合流区域面積 (ha)			24.6%	100.0%	100.0%
	目標値と実績値 に差が出た要因					
III 特記事項（今後の方針）						
平成25年度で事業完了。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-2-5-3 川口市合流改善事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：スクリーン4箇所	事業実施期間：平成24年	事業費： 114 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道（污水管）の整備を実施したことにより、生活環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与した。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-14 下水道処理人口普及率（全市） 下水道を利用できる人口（人）／総人口	84.6%	86.7%	86.5%
	目標値と実績値 に差が出た要因	計画通り整備できたが、供用開始区域内人口の増加量が想定していたよりも小さく、目標を達成出来なかった。		
III 特記事項（今後の方針）				
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-2-5-7	川口第3処理分区ほか污水管渠整備（普及促進）	
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：L=0.5km	事業実施期間：平成24年	事業費：50百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	地区内道路の整備により狭隘道路の解消が進み、緊急車両の通行における安全性・利便性が向上し、防災面からの改善が進んでいる。 整備済み道路整備延長（H24当初）約23,000m → 整備済み道路整備延長（H28末）約33,000m ※対象4地区の合計					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-18 芝東第3・芝東第4・新郷東部第2・里地区内における救急車等の緊急車両の到達時間を短縮させる地区内道路の整備率 $= \frac{\sum (\text{対象地区内整備済み道路延長})}{\sum (\text{対象地区内計画道路延長})}$			22.9%	25.7%	31.1%
	目標値と実績値 に差が出た要因	区画整理事業の進捗により一定水準の住環境と交通網が整備されており、対象地区内の道路整備が当初の予定よりも進んだ結果、目標値を達成できた。				
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-3-7-1 芝東第3地区土地区画整理事業	事業実施期間	平成24年～平成28年	事業費	1,648 百万円
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：都市再生区画 A=63.2ha	事業実施期間	平成24年～平成28年	事業費	1,648 百万円
事業名	A-3-7-2 芝東第4地区土地区画整理事業	事業実施期間	平成24年～平成28年	事業費	3,152 百万円
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：都市再生区画 A=92.6ha	事業実施期間	平成24年～平成28年	事業費	3,152 百万円
事業名	A-3-7-3 新郷東部第2地区土地区画整理事業	事業実施期間	平成24年～平成28年	事業費	2,608 百万円
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：都市再生区画 A=165.0ha	事業実施期間	平成24年～平成28年	事業費	2,608 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	区画整理事業の効果促進として、公園整備面積の増加により、良質な住環境の整備が進んでいる。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-19 対象地区内における一時避難所（公園）の整備率 = Σ（対象地区内整備済み公園面積）/ Σ（対象地区内計画公園面積）	17.2%	19.8%	19.8%
	目標値と実績値 に差が出た要因			
III 特記事項（今後の方針）				
平成29年度以降は、川口市社会資本総合整備計画の対象外のため、費用については別途検討する。				

上記指標に関連する事業

事業名	C-3-7-2-1 芝東第4地区公園整備事業(1箇所)		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：2,000㎡	事業実施期間：平成27年	事業費：52百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	長寿命化計画に基づき、市営青木住宅の建替を行った結果、住宅戸数が増えた。しかしながら、建替と併せて集約化も行ったことで、最終目標値に達しなかったが、今後、市営前川住宅の建替を行うことで、より一層住宅供給戸数の増加が見込まれ、新たな住宅確保要配慮者の住宅セーフティネット強化が図られる予定である。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-20 市内における市営住宅の戸数（戸） ※建設中の戸数を含む	2,649戸	2,730戸	2,657戸
	目標値と実績値 に差が出た要因	公営住宅等整備事業により24・25年度に青木住宅（98戸）の建替事業を実施したが、前川住宅の着工が遅れたことにより目標値に満たなかった。		
III 特記事項（今後の方針）				
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-4-1-1 地域住宅計画に基づく事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：青木住宅建替事業等	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：2,438百万円
事業名	C-4-1-1-1 既存公営住宅等解体撤去事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：青木住宅	事業実施期間：平成24年・平成26年	事業費：63百万円
事業名	C-4-1-1-2 公営住宅の建替えに伴う移転補償事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：青木住宅	事業実施期間：平成24年～平成26年	事業費：14百万円
事業名	C-4-1-1-3 既存公営住宅等解体撤去事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：前川住宅	事業実施期間：平成28年	事業費：60百万円
事業名	C-4-1-1-4 公営住宅の建替えに伴う移転補償事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：前川住宅	事業実施期間：平成28年	事業費：12百万円
事業名	C-4-1-1-17 公営住宅の建替えに伴う外構整備事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：青木住宅	事業実施期間：平成26年	事業費：34百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	長寿命化計画に基づき、予防保全的な修繕や改善を行うことで、ライフサイクルコストの縮減と事業の平準化を図り、ストックの有効活用と円滑な更新を実現した。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-2-1 耐震化の対象となる中高層の市営住宅における耐震性ありの棟数の割合（％）			91.1%	95.6%	97.8%
	目標値と実績値 に差が出た要因	芝2丁目住宅、朝日高層住宅の耐震補強工事が完了した。また、青木住宅の建替が完了し、耐震性の無い領家高層住宅を用途廃止の計画としたため、目標値を上回った。				
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-4-1-1 地域住宅計画に基づく事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 公営住宅等ストック総合改善事業等	事業実施期間： 平成24年～平成28年	事業費：	1,528 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川 口 市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	民間住宅に関しては、補助を行い「川口市耐震改修促進計画」で設定していた平成27年度末時点の住宅の耐震化率90%を達成している。					
	平成28年度に改訂を行った同計画では、耐震化率を平成32年度末時点において95%としており、各年度毎の目標値である平成28年度末の耐震化率91%も達成している。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-2-2 住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数) (%)			82.0%	91.0%	91.0%
	目標値と実績値 に差が出た要因					
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-4-2-1 住宅・建築物安全ストック形成事業				
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 耐震診断及び耐震改修・市内全域及び市外市有建築物 アスベスト含有調査及び除去工事・市内全域及び市外市有建築物	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：	302 百万円	

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	橋りょうの耐震補強事業を行うことで、大規模地震時の落橋を防止し、安心・安全な通行が確保された。橋 りょう長寿命化修繕計画を策定し、優先順位の高い要対策橋りょうから修繕を実施することで、予防的な保全を図り、安心・安全な通行が確保された。道路 附属物の点検を行うことにより、健全性が確保され、安心・安全な通行が確保された。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-26 安全に通行できる延長の割合 (%) (安全道路空間の確保率) = $\Sigma$ (改善必要ルートの中の安全通行確保延長) / $\Sigma$ (改善必要ルートの全延長) × 100			0.0%	100.0%	94.6%
	目標値と実績値 に差が出た要因	一部の要素事業において、必要な交付金予算が確保できなかったことなどにより、当初計画通りの事業進捗が図れなかった。 今後も次期計画に移行し、事業を推進することで目標値の達成を目指す。				
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備重点計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を実施していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-1-1-3	市道幹線第28号線（西川口陸橋）		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：耐震補強	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：	134 百万円
事業名	A-1-1-6	市道幹線第20号線（あずま橋）		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：耐震補強	事業実施期間：平成25年～平成28年	事業費：	61 百万円
事業名	A-1-1-7	市道中央第160号線外（ペDESTリアンデッキ）		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：耐震補強	事業実施期間：平成25年～平成28年	事業費：	67 百万円
事業名	A-1-1-9	橋りょう長寿命化修繕		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：橋りょう修繕	事業実施期間：平成26年～平成28年	事業費：	24 百万円
事業名	C-1-1-3-1	長寿命化修繕計画策定・点検		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：幹線第50号線外60橋	事業実施期間：平成24年	事業費：	9 百万円
事業名	C-1-1-3-2	道路付属物点検（横断歩道橋）		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：横断歩道橋点検	事業実施期間：平成24年	事業費：	2 百万円
事業名	C-1-1-3-3	道路付属物点検（ペDESTリアンデッキ）		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：ペDESTリアンデッキ点検	事業実施期間：平成24年	事業費：	12 百万円
事業名	C-1-1-3-4	道路付属物点検（道路標識）		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：道路標識・道路照明灯点検	事業実施期間：平成24年	事業費：	8 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	芝地区住宅市街地総合整備事業における主要区画道路の一部を拡幅したことにより、消防活動困難区域面積が減少した。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-27 芝地区住宅市街地総合整備事業（芝富士地区）区域内における消防活動困難区域の解消率 (重点整備地区面積－消防活動困難区域面積) / (重点整備地区面積) (%)	98.5%	100.0%	99.2%
	目標値と実績値 に差が出た要因	権利者との合意形成に時間を要し、予定していた道路拡幅が完了しなかったため		
III 特記事項（今後の方針）				
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-4-2-8 芝地区住宅市街地総合整備事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：地区公共施設整備等	事業実施期間：平成25年～平成28年	事業費： 330 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	主要幹線道路で劣化した舗装を良好な状態に維持するために修繕整備したことで、市民の安全な通行を確保している。また、今後予想される構造的な破損を未然に防ぐことにより、舗装の長寿命化につながっている。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-28 主要幹線等道路で劣化した舗装を良好な状態に維持するために修繕整備する割合 (劣化した道路の修繕整備率) = (劣化した道路の整備済延長) / (目標とする劣化した道路の整備延長14,000m) (%)			0.0%	100.0%	22.0%
	目標値と実績値 に差が出た要因	実施設計をするために詳細調査をしたところ、当初想定していた工法より工事費が増大したため、また防災・安全関連事業とのかねあいにより、当事業の目標値を達成するために必要な工事費確保が困難であった。				
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-1-1-8	南浦和・越谷線ほか舗装維持修繕事業	
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：道路修繕	事業実施期間：平成25年～平成28年	事業費：630百万円
事業名	C-1-1-3-5	路面性状調査	
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：路面性状調査	事業実施期間：平成24年	事業費：3百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽建築物の除却により、密集市街地の改善を図り、住宅・公共施設等の整備を促進することができた。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-29 里地区住宅市街地総合整備事業区域内における老朽建築物の解消率（%） 除却を行った老朽建築物戸数／老朽建築物戸数261戸（%）	0.0%	27.6%	10.3%
	目標値と実績値 に差が出た要因	委託・補助事業を優先したため、老朽建築物の除却事業費が減少し、進捗に影響した。		
III 特記事項（今後の方針）				
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-4-2-6 里地区住宅市街地総合整備事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：居住環境形成施設整備地区 A=26.3ha	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：	922 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	都市公園の施設に関する川口市公園施設長寿命化計画に基づき、改築・更新が必要と判断された複合遊具3基と4連ブランコ1基の大型遊具について、計画的に更新することで公園利用者の安全・安心を確保できた。				
	II 定量的指標の達成状況			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)
3-30 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業計画に基づき、更新をした遊戯施設の更新率を算定する。 (遊戯施設の更新率) = (更新済み遊戯施設数) / (計画における更新が必要な遊戯施設数) (%) (※計画期間H25年度 4施設)			0.0% (0施設)	100.0% (4施設)	100.0%
目標値と実績値 に差が出た要因					
III 特記事項（今後の方針）					
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。					

上記指標に関連する事業

事業名	A-3-3-2	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：遊戯施設更新 4施設園路舗装900㎡ 手摺146m視覚障害者ブロック66m転落防止柵5基		事業実施期間：平成25年・平成28年	事業費： 60 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	貯留管渠及び雨水管渠の建設により、浸水被害の軽減が図られた。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-31 下水道による雨水対策施設の整備率（中川雨水） 浸水対策完了済み整備延長（m）／浸水対策を実施すべき整備延長（m）	0.0%	100.0%	100.0%
	目標値と実績値 に差が出た要因			
III 特記事項（今後の方針）				
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら、「中川流域関連川口公共下水道事業計画」を平成30年度に変更し、平成31年度以降、川口市社会資本総合整備計画にて、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-2-5-6 中川流域雨水管渠整備（浸水対策）
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：L=0.5km（貯留管渠）、L=0.2km（雨水管渠） 事業実施期間：平成24年～平成28年 事業費：590百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	前野宿川を改修することで、浸水想定区域2.5haの被害が軽減した。				
	II 定量的指標の達成状況			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)
評価する指標					
3-34 前野宿川改修事業による護岸施工進捗率（%）			0.0% H27新規	15.6%	11.3%
目標値と実績値 に差が出た要因		国との協議により、年度計画の変更を行ったため。			
III 特記事項（今後の方針）					
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。					

上記指標に関連する事業

事業名	A-2-1-2	中川圏域総合流域防災事業（前野宿川）		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：掘削工 護岸工 地盤改良工	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：	483 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	重要な幹線の耐震化が図られた。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-35 下水道による管渠の地震対策実施率 耐震化済み管渠延長 (km) / 総合地震対策計画に位置づけた耐震化が必要な管渠延長 (km) (※計画期間H27～31年度 L=3.2km)			0.0%	18.8%	15.9%
	目標値と実績値 に差が出た要因	道路管理者との協議で近接する他の工事と調整した結果、工事延長0.6kmが0.5kmと減少したため、目標を達成出来なかった。				
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備重点計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業				
事業名	A-2-5-8	下水道総合地震対策（地震対策）		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：管渠耐震化=0.6km、ポンプ場地震対策4箇所、マンホールトイレ4箇所		事業実施期間：平成27年～平成28年	事業費： 621 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	ポンプ場における耐震補強の実施準備を進めることができた。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-36 下水道によるポンプ場の地震対策着手率 地震対策に着手するポンプ場（箇所）／総合地震対策計画に位置づけたポンプ場（箇所）（※計画期間H27～31年度 7箇所）			0箇所	57.1% (4箇所)	42.9% (3箇所)
	目標値と実績値 に差が出た要因		元郷排水ポンプ場、横曽根中継ポンプ場、竪前橋ポンプ場、青木中継ポンプ場の4箇所について耐震診断に着手する予定であったが、他のポンプ場の集中監視を行っている元郷排水ポンプ場の実施設計を、緊急時に備えて優先させたため、青木中継ポンプ場について着手をすることが出来ず目標を達成出来なかった。なお、青木中継ポンプ場については次期計画にて着手し、地震対策を進めていく。			
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備重点計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-2-5-8	下水道総合地震対策（地震対策）		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：管渠耐震化=0.6km、ポンプ場地震対策4箇所、マンホールトイレ4箇所		事業実施期間：平成27年～平成28年	事業費： 621 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	指定避難所にマンホールトイレを整備することにより、被災時のトイレ不足を解消することができた。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-37 下水道によるマンホールトイレの整備率 マンホールトイレを整備する箇所（箇所）／総合地震対策計画期間に整備する箇所（箇所）（※計画期間H27～31年度 10箇所）			0箇所	40.0% (4箇所)	40.0% (4箇所)
	目標値と実績値 に差が出た要因					
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備重点計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業				
事業名	A-2-5-8	下水道総合地震対策（地震対策）		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：管渠耐震化=0.6km、ポンプ場地震対策4箇所、マンホールトイレ4箇所		事業実施期間：平成27年～平成28年	事業費： 621 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	公園施設長寿命化計画に基づき、9公園において安全基準の制定以前に製造された危険度の高い遊具を、現在の安全基準を満たした複合遊具・ブランコ・リンク式遊具等の22施設更新したことにより、幅広い年代の子供たちに安全を確保できた。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-38 公園施設長寿命化計画に基づき、更新をした遊戯施設の割合の増加（%） （公園施設の更新率＝（更新済み公園施設数）／（計画期間に更新が必要な公園施設数）（%）（※計画期間H27～35年度 75施設）			0.0% (0施設)	29.3% (22施設)	29.3%
	目標値と実績値 に差が出た要因					
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-3-3-3	公園施設長寿命化対策支援事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：遊戯施設更新 22施設		事業実施期間：平成27年～平成28年	事業費： 67百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	青木住宅及び周辺地区内の住民の来所・相談により、健康に対する関心が高まった。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値(H28 年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-40 青木保健ステーションへ来所による健康相談の件数（件/月）	0件	8件	27件
	目標値と実績値 に差が出た要因	想定以上の相談があったため。		
III 特記事項（今後の方針）				
目標値に達成したため事業完了。				

上記指標に関連する事業

事業名	C-4-1-1-13	保健施設建設事業	
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：保健ステーション	事業実施期間：平成24年～平成25年	事業費：100百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	障害者施設の耐震性を確保することにより、安全な施設運営を行う。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-43 障害者福祉施設における耐震性ありの施設数の割合（%）			57.1%	100.0%	100.0%
	目標値と実績値 に差が出た要因					
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	C-4-1-1-12	福祉施設建設事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 障害者通所施設	事業実施期間： 平成24年～平成25年	事業費：	150 百万円	
事業名	C-4-1-1-18	福祉施設整備事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 耐震補強	事業実施期間： 平成26年～平成27年	事業費：	40 百万円	

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画的に耐震補強工事及び建替え工事を実施し、施設の耐震化を図ることができた。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-4-4 公設公営保育所における耐震化率 ＝耐震性が確保された保育所数/全体の保育所数			63.3%	80.0%	80.0%
	目標値と実績値 に差が出た要因					
III 特記事項（今後の方針）						
目標値に達成したため事業完了。今後も引き続き耐震化率の向上に努める。						

上記指標に関連する事業

事業名	C-4-1-1-19 保育施設整備事業	事業実施期間：平成26年～平成28年	事業費： 161 百万円
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 建替及び耐震補強		

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	公民館の耐震診断等を実施し、補強・改築工事を計画することができた。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-45 耐震化の対象となる公民館等における耐震化着手率 (耐震改修・耐震診断等実施施設数) / (耐震化対象施設数) (%)	46.4%	100.0%	100.0%
	目標値と実績値 に差が出た要因			
III 特記事項（今後の方針）				
平成28年度までの社会資本総合整備計画については計画通り進捗した。平成29年度以降については単独で事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	C-4-1-1-20	社会教育施設整備事業	
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 建替及び耐震補強	事業実施期間： 平成26年～平成28年	事業費： 38百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老人福祉施設（老人福祉センター）の耐震化事業を行ったことにより、老人福祉施設（老人福祉センター）の耐震化の割合の向上が図られた。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末想定)
	3-46 老人福祉施設（老人福祉センター）の耐震化の割合 (老人福祉センターの耐震化率) = (耐震化が確保された施設数) / (全施設数) (%)	40.0%	50.0%	50.0%
	目標値と実績値 に差が出た要因			
III 特記事項（今後の方針）				
目標値に達成したため事業完了。今後も引き続き耐震化率の向上に努める。				

上記指標に関連する事業				
事業名	C-4-1-1-21	老人福祉施設整備事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 建替及び耐震補強	事業実施期間： 平成26年～平成28年	事業費：	11 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川 口 市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本地区内の老朽住宅の棟数を把握したことにより、事業費を算定できて、「整備計画書」・「事業計画書」を策定することができた。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-53 芝第2・第5地区住宅市街地総合整備事業区域内における老朽住宅の把握	0.0%	100.0%	100.0%
	目標値と実績値 に差が出た要因			
III 特記事項（今後の方針）				
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-4-2-9 芝第2・第5地区住宅市街地総合整備事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：地区公共施設整備等	事業実施期間：平成28年	事業費： 20 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	多数の者が利用する建築物の耐震化率は平成32年度末時点で95%を目標としている。この目標値を達成するための各年度毎の耐震化率は平成28年度末で86.2%である。目標値には若干届かないものの、校舎の耐震化や新庁舎建替えなどにより着実に耐震化率は増加している。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-54 「多数の者が利用する建築物」の台帳をもとに算出（耐震化を有していることが確認できた多数の者が利用する建築物） ／（全ての多数の者が利用する建築物）（%）	75.5%	86.2%	86.0%
	目標値と実績値 に差が出た要因	耐震診断・改修工事に多額の費用や時間を要することから、権利者・テナントの調整等が難しいため。		
III 特記事項（今後の方針）				
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-4-2-1 住宅・建築物安全ストック形成事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：耐震診断及び耐震改修・市内全域及び市外市有建築物 アスベスト含有調査及び除去工事・市内全域及び市外市有建築物	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：302 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

<b>2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況</b>				
<b>I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</b>	都市公園376公園のうち、29公園の公園長寿命化計画を策定しライフサイクルコストの縮減を図ることができた。			
<b>II 定量的指標の達成状況</b>	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-5-5 公園施設長寿命化計画を策定した都市公園の割合の増加 (計画策定割合) = (策定済み公園数) / (都市公園の数) (%) (都市公園376公園のうち平成28年度までに54公園、平成30年度までに100公園)	0.0%	14.4%	7.7%
	目標値と実績値 に差が出た要因	優先度の高い他事業に交付金を配分したため、当初54公園から29公園に縮小して事業を実施した。		
<b>III 特記事項（今後の方針）</b>				
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討し、策定した長寿命化計画の見直しを含め、重点計画に基づき平成30年度までに当該事業を完了させる。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-3-3-1	公園施設長寿命化計画策定事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：川口市公園施設長寿命化計画（54公園）	事業実施期間：平成24年・平成25年・平成28年	事業費：	20 百万円

# 社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画（防災・安全）	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	川口市バリアフリー特定事業計画に基づき、都市公園のバリアフリー化を図るため、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業として実施する予定であったが、全体計画内の優先度の高い他事業に交付金を配分したことにより、事業の進捗が図れず、事業効果が得られなかった。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-56 川口市バリアフリー特定事業計画に基づき、改善した公園施設の割合の増加 (改善した公園施設の割合) = (対応済み公園施設数) / (対象公園施設数) (%) (平成28年度3施設、平成29年度3施設)			0.0%	50.0%	0.0%
	目標値と実績値 に差が出た要因		優先度の高い他事業に交付金を配分したため、事業が進捗せず実績値が0%となった			
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業				
事業名	A-3-3-2 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 遊戯施設更新 4施設 園路舗装900㎡ 手摺146m 視覚障害者ブロック66m 転落防止柵5基	事業実施期間：平成25年・平成28年	事業費：	60 百万円